

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

皆さんおはようございます。いよいよきょうは一般質問2日目でございますけれども、ひとつよろしくお願いいたしたいと思います。

では、議長の登壇お許しをいただきましたので、ただいまから私の一般質問を始めたいと思います。

まず第1点目は、環境問題について質問いたしたいと思います。

毎日の新聞、テレビ等で地球温暖化や河川の浄化といった記事が毎日のように報道をされております。特に地球温暖化そのものは、自然界のさまざまな異変を通じて多くの人は身近な問題として気づいているのではないのでしょうか。例えば、ここ2年ぐらいは花冷えがひどく、虫の音が遅い。箱根では4月に雪が降り、冬の間は白くなかった山が白くなったそうでございます。それなら寒冷化だと思いますが、全体として温暖化が進行しているようでございます。

現在の温暖化の原因は、二酸化炭素による温室効果以外には今のところ有効な説明がないのが現実でございます。温暖化の問題は人類全体の問題であり、二酸化炭素排出国でアメリカが世界の4分の1を放出しているということでございます。次に中国、EU、ロシアの順だそうございまして、ちなみに日本は全体の5%にすぎないそうであります。政府計画は抜本的に見直し、1人1日1キログラムのCO₂、いわゆる二酸化炭素削減の国民運動を展開することだそうでございます。

そのような中、今月6月6日から3日間、ドイツのハイリゲンダムで行われました第33回G8サミットが開催され、安倍首相が参加をされ、来年7月には北海道の洞爺湖町でサミットが開催される運びになったそうでございます。

そのようなことで、武雄市として温暖化対策をどのように行おうとしておられるのか、また、市民の周知にはどのような方向でされる意向なのかをまずお尋ねいたしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

おはようございます。答弁を開始いたします。

基本的にCO₂の削減の問題というのは、個々の問題、国の問題、さまざまなレベルで一朝夕にいかないということは議員も御案内のとおりだと思います。その上で私たちとして心がけたいのは、目に見えるもの、すなわち、例えば、夏であれば、去年、「佐賀のがばいばあちゃん」のTシャツを着させていただきましたが、そういった形で目に見えるものですよね。今、答弁は私はこういう格好をしておりますけれども、基本的には夏は涼しい格好で行うということも、基本的には、これは冷房費を下げるといったこと、そして、あるいはアイドリングをやめるとか、さまざまな目に見えることでやっていきたいというふうに

思っております。

お尋ねの第2点の広報については、ケーブルワンであったり、あるいは広報紙、市報で年に3回、こういったことの身近な取り組みを告知しております。さらにことしからは、もうすぐ、きょうから、今からでもできるような取り組みを中心に掲げていきたいと、このように考えております。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

よくわかりました。目に見えることからということで、まずTシャツ、去年のがばいばあちゃんからですね、Tシャツ、大変、クールビズで、私たちもこの議場でもクールビズでネクタイなしで大変いいと思いますけれども、やはりこれは決まりでございますので、仕方がございません。

ここにパンフレットがあります。これは、ある企業が出したものでございますけれども、「省エネは家庭も地球も救う」というパンフレットでございます。地球温暖化の原因はCO₂、いわゆる二酸化炭素でございますけれども、温室効果ガスです。CO₂は石油や石炭を燃やすときに出るガスでございますして、火力発電や車からも排出されます。CO₂が出ますと、地表の温度が宇宙空間に逃げにくくなり、地球が熱くなるのでございます。この温暖化が進むと2100年には、平均気温が最大で6.4度、そして海面が59センチ、約60センチ近い上昇になると予想をされております。今すぐ環境配慮型の社会に転換すれば、温度上昇も1.1度、海面上昇は18センチに抑えられると予測されております。私たち一人一人の取り組みが必要だと思えます。

ゴア元アメリカ副大統領は、環境問題は政治問題ではない、個人の道德問題であると、我々は強い意思を持って今すぐ行動をしようという言葉があります。温暖化は、90%以上が人為的な問題だと思えます。

そこで、この省エネのパンフレットに、今私が言いました「省エネは家庭も地球も救う」というタイトルで書かれております。これは九州電力さんのパンフレットでございますけど、この中には非常にわかりやすく説明がなされております。省エネをしたらこうなったということで、夏の冷房どきの室温は28度に設定をすると。そしたら、使用時間を1日9時間としますと、年間で電気の使用量の節約が30.24キロワット/アワー、そしてCO₂の削減が11.1キロ、年間にされるそうでございます。そして、冬の暖房どき、室温を20度に設定したら、年間に1,050円の節約、そしてCO₂の削減が19.5キロ。冷房は必要なときだけつけるというと、年間で18.78キロワット/アワーの省エネ、CO₂が6.9キロの削減ということになります。暖房はまた必要なときだけつけるというのは、40.73キロワット/アワー、CO₂が15キロ。これがすぐ簡単にできることでございますけれども、冷房、暖房のフィルターを月

1回とか2回とか必ず定期的に掃除をすると、そういうことで年間に31.95キロワット/アワーの電気が節減され、CO₂が11.8キロ削減されるそうです。金額にして630円。年間これを行った場合に3,450円ぐらいの金額の節減、そしてCO₂が96.25キロ削減をされるといったような、詳しいパンフレットがあります。

今、武雄市では漫画を題材にした、今回のがばいばあちゃん非常に人気になりましたけれども、パンフレットとかなんとかというのは漫画のように書いて、非常に子供たちから大人まで親しみやすい、このようなパンフレットのようなものをつくってあります。このようなことで、これからの子供たちの教育とか、そしてこの削減効果にはいろいろ効果があると思いますけれども、今市長おっしゃったように、広報紙とかなんとかでPRしているということでございますけれども、このような漫画等でわかりやすい、市民にPRを考えておられるのかどうか、お尋ねをしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

今すぐには考えておりませんが、ただ、私の基本的に進める姿勢というのは、ビジュアル、わかりやすく、具体的に、そしておもしろく、楽しくというのが基本であります。そういう意味で、総合計画も全イラスト化をいたしましたし、防災も基本的にはイラストというか、漫画形式にいたしました。なお、漫画といたら、その1つの側面しかとらえられんわけですので、どういった中身がいいか、そのストーリーについてはまた議員からいろいろ教えていただければありがたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

先ほど私、いろいろ、省エネとかCO₂の削減とかということで質問させていただきましたけれども、やはりこの温暖化というのは90%以上が人為的な問題だというようなことで、各電気製品のメーカーでもエコ製品を非常に開発したというようなことで、数年前の40%から50%は節電、そしてCO₂の削減になるというような製品が出ているそうでございます。そのようなことで、これからはいろいろエコ製品を、次に買いかえるときにはぜひエコ製品を買うように、求めるように、ひとつ市民にもそのようなことでPRをしていただきたいと思いますというふうに思います。

では次に、合併が1年を過ぎました。メリットもデメリットも見え始めたところでございますけれども、自動車のCO₂の削減は大変大きいものがあると思います。現在、武雄市で所有をしている公用車、何台ぐらいの公用車があるのか。1市2町合併したわけですから、それ相応の台数があると思います。その中に低公害車はあるのか、お尋ねをいたしたいと思います。

います。

議長（杉原豊喜君）

大庭総務部長

大庭総務部長〔登壇〕

お答えいたします。

公用車の保有台数につきましては、本庁、山内、北方両支所を含めまして147台を所有しております。そのうち低公害車としましては9台を保有しているところでございます。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

今、全体で147台、低公害車が9台という説明でございますけれども、その低公害車はどのような低公害車ですかね。電気自動車なのか、それともハイブリッドなのか。また、平成22年の燃費基準に達成をした車なのか。どのような低公害車なのか、お尋ねをしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

大庭総務部長

大庭総務部長〔登壇〕

現在保有しております低排出ガスの車両につきましては、平成12年の排出基準にのっとった公用車が8台、平成17年排出基準をクリアした公用車が1台でございます。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

そしたら、普通私たちが言う低公害車という、電気自動車とか、ハイブリッド車というふうなものはないわけですね。ただ、平成12年と17年度の燃費の基準に合格した車ということだと思いますけれども、その車両についてはいろいろ国からとかなんとかからの補助金等はないような低公害車ですかね。質問します。

議長（杉原豊喜君）

大庭総務部長

大庭総務部長〔登壇〕

お答えいたします。

この認定を受けた自動車は、排出ガスのレベルに応じまして自動車税とか自動車取得税を払う際に特別措置、軽減の対象となるというふうに聞いております。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

この12年、17年の適合車というのは、そのときに新車を買ったら、全部その対応になっているわけですよ。今現在、新車を買っている車は、平成22年度の燃費の基準とか排出基準に合格した車です。ですから、今説明ありましたとおり、いろいろな税的な措置は余りないと思います。これからやはり、今私言いましたように、CO₂の削減、非常に車のCO₂の排出量というのは多いわけですので、なるべくひとつこれからの更新ときにはハイブリッドとか電気自動車とか、ひとつ購入のほうも考えていただきたいというふうに思います。

そしてまた、その次に、ある程度償却をしたら、そしてキロ数を乗ったら代替をするということがあると思いますけれども、その基準について、代替基準についてはどのようになっているのか、お尋ねいたしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

大庭総務部長

大庭総務部長〔登壇〕

買いかえの基準につきまして、特段基準を設けているということはありません。走行距離とか経過年数等々を勘案しながら、随時買いかえをしているところでございます。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

やっぱり車も古くなったら、どうしてもCO₂が多く出るような仕組みになっております。そのほうでひとつ考えていただきたいと思います。

そして、10月7日付の佐賀新聞に、公用車を貸しますというようなことで、土曜、日曜、祝日に無料で貸しますという新聞記事が載っておりました。この写真にはマイクロバスが掲載をされております。そのようなことで、うちのマイクロバスは恐らく軽油で走るディーゼル車だと思いますけれども、お隣の鹿島市ではてんぷら油を再生した燃料で走っていると。そしてまた、佐賀市につきましてもそのてんぷら油を精製して、ごみ収集車に使用しているというような記事もあります。

このようなことで、そのような代替燃料といえますか、そのような考えはないか。そしてまた、今私が言いました公用車を貸しますというのを、これまでどれぐらいの台数が貸し出しがなされたのか、そして、使用目的はどのようなものであったか、お尋ねをしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

大庭総務部長

大庭総務部長〔登壇〕

代替ガソリン等の使用につきましては、まだ具体的な計画はございません。今後、随時買

いかえをする段階で低公害車とか軽自動車に切りかえていきたいというふうな考えは持っております。

あと、貸し出しにつきまして、マイクロバスについては今のところ要望はあっておりません。ほかの普通車、軽自動車につきましては1台か2台あったかと思っておりますけれども、ちょっとどういう理由だったかは、手元に持ち合わせておりませんので、後だって報告させていただきます。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

マイクロバスについてはまだ貸し出しはないということでございますけれども、私が一番マイクロバスが貸し出しが多いと、要望が多いと思っておりましたけれども、そういうわけじゃないわけですね。

では、次の問題に移らせていただきたいと思います。

次は、容器包装リサイクル法について質問をさせていただきます。

今年4月施行の改正容器包装リサイクル法について、どのようなところが改正をされたのか、お尋ねをいたしたいと思えます。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

お答えいたします。

今回改正されました容器包装リサイクル法、これは主に容器包装廃棄物の排出抑制、これが柱となっております。それで、スーパーとか、あるいはコンビニですね、こういうところの小売業者に対して、レジ袋を有料化するとか、あるいは容器包装の使用の合理化のための計画をつくるとか、そういうところを義務づけしたと、そして義務づけとともに合理化計画を立てることと報告すること、これを義務づけしたということが主なものでございます。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

今説明を受けましたけれども、ほとんど業者に対する改正だというふうに理解したところですが、武雄市でも武雄市循環型社会計画～一般廃棄物処理基本計画～というのが策定をされております。1章から5章までありまして、特に1章の、私たちはもう一度、もったいなかという言葉の持つ意味を考え直す必要があるのではないか、市民、事業者、行政が一体となつてごみ問題に向き合う意識が必要だというふうに書いてあります。3章にある3R運動、いわゆるリデュース、リユース、リサイクルといった、使い捨ての時代から使える

ものは繰り返し使え、捨てる場合は資源として再利用することが必要だというふうにも書いてあります。

これは3月議会でも質問があつておりましたけれども、レジ袋のことが問題になっておりました。たかがレジ袋を1枚と思いますけれども、国内で使用される量は年間300億枚に上るそうです。すべて使い捨てになっていると思います。石油換算でしますとドラム缶280万本、56万キロリットルの浪費をしている計算になるそうです。

そこで、改正容器包装リサイクル法の施行で、今、これは3月議会でも質問があつておりましたけれども、山内町と北方町に買い物バッグを配布したという質問があつておりました。それで、余り利用がされていないというような状況をお聞きいたしましたけれども、その後、こういう問題が出てきましたので、その後の利用状況は変化をしているのか、どのようになっているのか、お尋ねをいたしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

山内、北方町で無料配布をされたエコバッグについては、今使われているというのは聞いておりません。その原因を分析しましたところ、やはり無償で提供したというのが1つネックであるということを考えております。したがって、今後は、これから詳細は詰めてまいりますけれども、デザイン、使い勝手がいいものを公募しようと思っております。エコバッグを公募した上で、商工会議所、各事業者の皆さんに協力を呼びかけて、各店舗に置いていただいて、ちょっと有償になるかもしれませんがけれども、喜ばれる、使ってもらえるエコバッグを市が先頭に立ってつくってもらいたいというふうに考えております。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

最近、新聞、テレビ等でよくレジ袋の有料化というのを見たり、聞いたりします。マイバッグ運動はこれまでも提唱をされてきたわけでございますけれども、買い物をするたびにマイバッグを持っていくのは面倒ではないかということが大体の意見だろうと思います。大手スーパーのイオンは、買い物袋の持参率を高めるために、ことし1月からレジ袋の有料化を始めたということで、県内でも鹿島市のスーパーモリナガがことしの、先月ですけれども、5月15日からレジ袋1枚5円で販売し、収益は環境保護活動に寄附するという新聞記事も載っております。

武雄市内にも大型スーパーが数店あるわけです。今回の改正に該当するレジ袋を年間50トン以上用いる多量利用の事業者が武雄市にあるか。そしてまた、要するに小事業所といいますが、50トン以下の包装を扱う業者にはどのような指導を行っていくつもりなのか、お尋ね

をいたしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

お答えいたします。

50トン以上というその事業所、武雄市では私が把握しているところでは、恐らく2店だろうと、2事業所だろうと思っております。地元の大手のスーパーといいますか、その2店と把握しております。

あと、どうするかということにつきましては、その事業所の方に、今議員おっしゃられたように、隣の鹿島市ではモリナガがそういうふうにしておりますので、そういうことができないだろうか、あるいはエコポイントですね、エコポイントの実施に向けてのそういうことの計画を立てられないだろうか、そういうふうなことでの相談というか、エコバッグが普及できるように事業所との協議もしていきたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

部長の答弁に補足いたします。

基本的には、東京、あるいは大阪では、紀伊国屋だったり、イカリスーパーだったり、各店舗がエコバッグをつくっておっわけですね。これ、1,200円とか1,600円とかで売りよんさあわけですね。これは、みんな持とうわけですね、日常生活で。だから、日常生活で、例えば、会社に行った後、帰るときに買い物をしていくって。だから、恐らく議員がおっしゃったように、買い物だけのエコバッグというとは、僕ははやらんと思います。したがって、これを、特に女性の方、きょうは婦人会からもたくさんお見えになっておりますけれども、こういった皆さんたちが喜んで、しかも、デザインがよく、使い勝手がよく、使えるようなバッグですよね。これは日常生活でも使ってもらおうと、そういうふうなバッグを今後、先ほど申したとおり、公募をしたいというふうに思っております。

1点報告をすると、今開発中ですがけれども、買い物袋、これ基本的には各店舗、各事業者がいろんな紙袋をつくりよっわけですね。これこそCO₂をふやしている元凶の1つだと思っておりますので、統一的に市が今デザインをつくっておりますけれども、それを各事業者に呼びかけて、それも何回も使っていただくという形で今進めているところであります。成案が出ましたら、いち早くまた御報告をしたいと思っております。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

この問題は、本当に、きょう婦人会の方がお見えでございますけれども、一番身近な問題だろうと思います。私、きのう買い物にちょっと行きましたけれども、やはり袋に入れていただきました。しかし、その店の員さんにレジのところでも聞きましたけれども、おたくではこういう取り組みはありませんかと言ったら、うちではまだ何にも聞いておりませんというようなことでもございました。

このレジ袋には、今の問題に逆行するようでもございますけれども、このレジ袋がはやり出したのは、恐らく昭和30年代の後半から40年代にかけて物すごくふえただろうと思います。なぜふえたかというのは、やはり手軽さと、そして防犯の面からも非常に有効だっただろうというふうに思います。やはり今の時代と違って、昭和30年代の後半から40年というのは、やはり物すごく貧乏、私たちは貧乏でもございました。物すごく万引きがはやった時期でもございまして、やはりその1つの対策にもこれはなかったのではないかと。そしてまた、私たちが小さいころは、必ず買い物袋を持って、昔、私たちが小さいときには、やみかごと言っていました。本当にですね、適度な言葉ではございませんけれども、必ず網で編んだ小さなバッグを持って、そしてお酒のはかり売りとか、そのようなものを買に行っていたのを思い出します。それがこのレジ袋がはやったおかげで、物すごく手軽に、手ぶらで買い物に行き、そして万引きもできないような、レジを通らんと帰られんもんですから、これで本当に非常に普及をしたのではないかとこのように思います。

これをもとにまた戻すわけですから、大変な苦労と申しますけれども、ぜひこれは、このマイバッグを持って買い物に行くような運動をしっかりといただいて、そしてこれまで北方、山内については無償で配布をしたから、恐らく無償がよかったか、悪かったかは別ですけども、やはりただというのが一番高くつくと思います。ですから、どうかそこら辺は執行部の方がうまく考えていただきまして、このマイバッグ運動は進めていただきたいというふうに思います。

次に、河川の環境保全について質問いたします。

武雄市は、有明海に注ぐ六角川と玄界灘に流れ込む松浦川の2つの河川があります。また、県河川等多くの河川があるわけですが、私たちの日常生活と密接な関係にあるのが河川水であります。

そこで、市内の河川の水質検査は定期的に行われているか、その実態をお尋ねいたしたいと思っております。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

お答えいたします。

現在、市内で水質検査を行っているところは、松浦川水系では4カ所、六角川水系では12

カ所、計16カ所でございます。

回数でございますが、その地点によって違いますが、年間1回から4回というところがございます。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

六角川水系で12カ所、松浦川水系で4カ所ということでございますけれども、やはり今は、1級河川にはいろいろ、国土交通省の関係ですから、EMだんごとか、EM菌とかというのは余り流れていないと思いますが、いろいろ婦人会の方とか区長さんたちが一生懸命になってEMだんご等を県河川とか市の河川には投入をされております。そのようなことで、この河川が、私は平成12年にこの水質問題については一般質問しております。そのときと今とすれば、どれくらい水質の改善がなされているのか。これは通告しておりましたので、平成12年の一般質問の資料があると思いますので、それをもとに答弁をお願いしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

お答えいたします。

朝日町の方で2カ所調査結果が出ております。それで、朝日町では高橋橋と笹川橋、この2カ所での調査結果があります。それで、高橋川の方で平成12年度の数値としては、BODで1.9ppm、それが今現在0.9ppmです。それと、笹川橋につきましては12年度で1.6ppm、現在が1.9ppmということになっております。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

今答弁いただきましたけれども、私のそのときの質問には、高橋橋のところは昭和63年に3.6ppm、そして平成元年には2.3ppmというふうに質問いたしております。それで、平成11年の1月には1ppm、そして平成12年11月には0.5ppmということでございますけれども、それからすれば少し水質が悪化しておるといふことになりませんか。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

悪化しているというか、私が持っている資料では、笹川橋の方につきましては18年が1.9ppm、17年度も1.9ppm、16年度がちょっとここがそのときの観測時期にもよるかわかりませんが、5.5ppm、それと15年度が1.4ppm、14年度が1.5ppmというふうにな

っております。そして、高橋川ですが、今現在0.9 p p m、去年が1.2 p p m、16年度が2.0 p p m、15年度は1.1 p p mということで、ここは若干ですけど、改善といいますか、水がきれいになっているという状況です。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

これは、要するに水質検査というのは、気象状況とか、いろいろな問題で数字のとおりにいかないのが本当でございます。雨が降った明るく日にはかったら物すごくよかったり、1カ月も雨が降らなかったら物すごく悪化しているということでございますけれども、余りこの数値については信用性がないと言ったら語弊がありますけれども、こういう気象状況等、大きな変化があると思います。

そして、もう1つお尋ねしたいと思いますけれども、下水道。富岡下水道が武雄にはございます。富岡下水道は、私が平成12年の12月議会で質問をしたときには、平成元年の10月に109.2 p p m、そして平成12年の10月には77 p p mに下がっております。今現在、検査したデータがあるなら教えていただきたい。なかったら結構でございますけれども。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

申しわけありません。今現在、そういう水質検査の結果はございません。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

富岡下水道については、公共下水道がもう整備されつつありますので、これからは物すごくきれいになると思います。

では、次の問題ですけれども、次は高橋の下水道の問題について質問をさせていただきます。

朝日町の朝日小学校のちょっと上の方から、小原住宅というのがありますけれども、小原住宅が約30数戸あります。それからずっと高橋川、要するに下流の方に下水道がありますけれども、中間はずっと農業用の配水路と、そして生活雑排水の排水路と2つ並行して走っております。そして、ちょうど新堀という場所がありますけれども、新堀の県河川に分離した雑排水を、そこまで分離してきて流したのをそこに新堀でどんと河川に流し込んであるわけですね。

それで、当時どういうふうな設計であのようなことになっているか知りませんが、確かに高橋川の改修のとき、いわゆる高橋川排水機場ができるときに改修がなされたと思

ます。中途まではちゃんとした下水路で排水しているのに、その後、あと300メートルぐらいのところでは県河川に落としてあるわけですね。そして、先月の23日、大量の魚が死にました。環境課がおいでいただいて回収をしていただきましたけれども、そのときに400匹近い魚が死にました。300メートルぐらいの河川でですね。そして、それを回収していただきましたけれども、その後、県下一斉美化運動が6月3日にありました。その前々日の6月1日にも、また相当数の魚が死んで、今もうきょうぐらいの気温が上がりますと、臭くてたまらんような状態になっていると思います。

これがなぜこのような状態になっているのか。恐らく原因は、大概は私もわかりますけれども、その死骸を回収された、そしてその検査をされた、実態がどのようなものだったか、なぜ死んだのか、お尋ねしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

状況から、恐らく酸欠じゃなからうかと思われま。

以上です。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

私もそう思います。というのは、上流から流れてくる自然流下の水がないわけですね。完全に、農業用水との関係で上流から流れる水を遮断してあります。そこで、その農業用水を幾らかでもこの河川に流してもらって希釈をしたら、恐らく酸欠状態にはならんのかなというふうにも思いますけれども、その農業用水と生活排水との、そこら辺の水の扱い方ですね。そこら辺、私も区長さんとか地元の方に何回となく聞いてみましたが、平行線でした。やはり農業用水の大事さというのはわかります。しかし、その河川の浄化というのも、私もよくわかるつもりです。

このように、たった300メートルぐらいの河川で、恐らく2回の酸欠状態で1,000匹近い魚が死んだんじゃなからうかというふうに思います。ですから、その魚が生息しているということは、いいときにはいいわけですね。ですから、恐らく5月にこのような大量な魚が死んだわけですから、これから夏場に入ります。そして、農業用水が必要になりますから、恐らく河川に流れる水は下水を希釈する水がないと思います。これをどうにか対策を考えていただきたい。せにやいかんことは、私はせにやいかんと思います。

というのは、皆さんも御存じだと思いますけれども、武雄市でも矢筈地区、そして川内地区には農村集落排水事業も完成間近でございます。このようなことで、やはりあるところには金をかけて、あるところには金をかけんということではございませんけれども、恐らくあの

周辺というのは公共下水道の計画もあります。ありますけれども、それまでには待てないと。ですから、合併処理浄化槽といっても年間150基ぐらいの、ことしも150基ぐらいの予算しか組んでありません。ですから、農村集落排水事業をしてくださいとか、公共下水道をすぐしてくださいというのは無理かもわかりませんが、その対策をやはり行政主導でぜひ、魚が死なないような状態にさせていただきたいと思っておりますけれども、答弁をお願いします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

基本的に高橋川は県管理でありますので、これは物すごくやっぱり、国河川、県河川と分かたれとうわけですね。したがって、我々ができるのはしゅんせつの要望であります。これに対しては、既に事務的には行っております。私からもまた県に申し上げたいというふうに考えております。

その上でお願いがあるのは、これもやっぱり時間がかかるわけですね。琵琶湖、あるいは多摩川がよみがえったように、例えば、生活排水の質を上げるということはできないでしょうか。例えてするならば、例えば、そういう洗剤とか、汚さないような水ですよ。油が垂れ流れたりしようわけですね、ぷかぷかとかですね。そういうことをしない。それともう1つが、農業排水でも、今いろんな農薬があるというふうに聞き及んでおります。エコに対応した農薬があるというふうに聞いております。そういったことを対応することによって、そもそも流す水を劣化、悪化させないということが現実的、具体的に求められるというふうに考えております。ぜひ、議会もこういったことでいろんな形で地元の皆さんたち、そして婦人会、きょうお見えであります。呼びかけていただければありがたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

では、この問題については、やはり地域といろいろな協議をしていただいて、農業用水でも少し分けていただいて落として希釈できるような体制をお願いしたいというふうに思います。

次に、今、公共下水道のことが話に出ましたけれども、今、第1地域を32ヘクタールに縮小して、現在、公共下水道工事が進められております。この進捗状況をお尋ねいたしたいと思っております。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

お答えいたします。

公共下水道の進捗状況につきましては、今現在、本町通りの下水管の工事をしております。それで、今年度、その下水管の工事と、下流の処理場につなぐ小楠地区の下水道管の工事をしております。今年度、ことし12月には処理場が完成しますので、その段階で一部供用開始というふうになります。ただ、本町通りの工事をしてありますが、本町地区とか松原地区、要するに線路よりも北側につきましては鉄道が来年の春で高架しますから、その後に線路部分の管を接続するという形になります。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

先ほど、私も少し触れましたけれども、武雄市の公共下水道というのは3区域に分けて計画がなされております。今言った第1工区が、第1の区域が183ヘクタール、その32ヘクタールを今現在やっているわけでございますけれども、この全体の第1区域の183ヘクタール、そして第2区域が、その南側、342.5ヘクタール、そしてその次が、第3区域が東側に当たります、いわゆる私が先ほど申しました朝日地区が第3区域に入るわけでございますけれども、第1、第2、第3の終了の予想の期間といえますか、期日というのは想像ができるのですかね。ちょっと、もしあったらお尋ねしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

議員おっしゃられる区域、1区域、2区域、3区域の部分ですけど、今現在、区域1の183ヘクタールを計画決定しております。この183ヘクタールの計画決定の段階で30年かかるという地元説明をずっとしてきたところです。ですから、第2地区、あるいは第3地区、ここにつきましては今のところ見通し立っていません。ただ、今年度、整備計画をつくるということにしておりますので、その段階で区域の見直しまで含めてマップの作成をするということになっております。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

気の遠くなるような話でございまして、この第1区域の183ヘクタールは30年ということですから、私たちももうそのころには、第1区域が完了するころは私たちももうこの世にはいないんじゃないかならうかというように思います。そして、この南側の第2区域が342.5ヘクタールですから、物すごく広い範囲になるわけですが、恐らく第3区域まで終わるのは100年先というようなことで、もう私たちの孫の時代に、ひ孫の時代になるかもわかりま

せんけれども、先ほど私が申しましたとおり、やはり今、高橋の新堀地区では魚が死ぬというような問題が解消するのは、本当に何かの対策をしないことには、恐らく新堀地区というのは一番最後の区域でございますので、100年も先のことだと。もう100年先は、このCO₂の問題で人口は半減しているかもわからないということでございますので、本当に先のことはどうなるかわかりませんが、そのかわりに何かの対策、いわゆる何かの対策といえは、もう農業集落排水事業はある程度のところで計画をしてありますので、残るは合併処理浄化槽でございますけれども、これも限られた、年間150基ぐらいの予算で武雄市もやっているわけです。

山内町につきましては、100%の農業集落排水事業が完備をいたしております。また、加入率については非常に低いかわかりませんが、しかし、それは個人の問題でございますので、それはそれとして、農業集落排水事業はできない、そしてあの地域にはもう合併処理浄化槽しかないわけです。合併処理浄化槽は補助をいただいて年間150基ぐらいということで。さきの議会でも、市町村型の合併処理浄化槽という計画もあると聞いております。ですから、その取り組みについては、ある程度へき地については、へき地と言ったら失礼かわかりませんが、この70年、100年先の地域についてはそこら辺も考えられるのか、お尋ねをしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

今議員がおっしゃられる、そこら辺まで含めて、今年度、マップの見直しというところの、作業をしておりますので、それまでいましばらくお待ちいただきたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

これから計画を立てるということでございますので、70年、100年先のことを、とにかく言っても、らちが明きませんので、次の問題に移りたいと思います。

次に、朝日小学校グラウンド整備と朝日保育所の統合問題についてということで質問をさせていただきます。

朝日町のまちづくり推進会では、数回にわたって要望を行ってまいりました。グラウンド、保育所の統合につきましては、市長初め執行部の皆様の御理解で、まずグラウンド整備についてはもう予算も19年3月の補正でつけていただいたわけでございますけれども、今後、グラウンド整備、まずグラウンド整備をしないことには保育所の事業に移られないわけでございますけれども、このグラウンド整備がどのような工程で、どのようなスケジュールで行われるのかをお尋ねしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

古賀教育部長〔登壇〕

お答えを申し上げます。

グラウンドの整備の工程ですけれど、予算的には18年度の補正で用地取得造成費等の予算をいただきましたので、現在その作業を進めているところでございます。本年度中に収用認定とか、そういったところまで済ませまして、用地の本契約を済ませまして、その後、造成工事に入っていきたいというふうに考えております。

それから、来年度につきましては、一部表層の工事とか、あるいは造成、それから附帯の、例えば、バックネットとかいろいろ、フェンスとか、そういった附帯工事もでございますので、そういったところを20年度の早期にしたいというふうに考えております。

なお、あわせまして、保育所の着工との関係もでございますので、それと時期を失しないように調整をしながら事業の進行管理に当たっていきたいというふうに考えております。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

今答弁いただきましたけれども、大体19年度にグラウンド整備はできると、年度内にできるということでございます。

このグラウンドは、恐らく1万平米ちょっとだったと思いますけれども、これまでの朝日小学校のグラウンドよりも約倍ぐらいのスペースになるわけですから、市民も大変喜んでおります。そういうようなことで、私が心配しているのは、あそこに今の朝日小学校のグラウンドに相撲道場とナイター設備があります。この相撲道場とナイター設備については、あの今の小学校のグラウンドは当然、保育所のものになるわけですから、あれを移設か新設かせにゃいかんと思うわけですが、その辺はどのように考えておられるのかをお尋ねしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

古賀教育部長〔登壇〕

お答えを申し上げます。

まず、ナイター設備ですけれど、現在の小学校の運動場に4基ございます。これにつきましては、新しいグラウンドのほうにその4基とも全部移設をするということで計画をいたしております。

それから、相撲場ですけれど、これについても市のほうで移設をするということで計画をいたしております。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

新設じゃなくして移設ということですね。

今、ナイター4基ということでございますけれども、恐らく4基では、今度スペースの問題とかなんとかで足りないというふうに思います。ですから、そこら辺については、やはりこれからの問題と申しますけれども、ひとつ、非常に今グラウンドの使用が多いわけですね。夜間にしても、ソフトボールはあるだろうし、グラウンドゴルフはあるだろうということで、大変だれでも期待をしているわけですから、もう少し増設ということで考えていただきたいなというふうに思います。

この朝日小学校のナイター施設というのは、平成9年に完成をいたしてございまして、ほとんどが町民の寄附採納で行われております。総額6,200千円近くかかっておりますけれども、その収入は夜間照明施設設置事業ということで500千円と、一般コミュニティー助成金が2,000千円、2,500千円の助成をいただいてつくっております。あとの4,000千円近い金は市民の寄附で賄っているのが現実でございます。

それで、恐らく今回もまた寄附採納になると思います。恐らく4基では足りませんので、増設をせにやいかんと思います。そうした場合、これはもう平成6年にできておりますから、恐らくもう今は、もっと省エネに対するナイター施設があると思うわけですね。ですから、そこら辺とも考慮をしていただいて、やはりCO₂の発生が少ない照明機具をしていただきたいと思っておりますけれども、そこら辺についてはどのようなお考えですか。

議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

古賀教育部長〔登壇〕

お答えを申し上げます。

施設の整備等につきましては、地元のグラウンド部会をつくっていただきまして、そちらのほうと協議をいたしたところでございますが、ナイターの設備、この増設については、現在、グラウンド部会からの具体的要望というのは上がっておりません。ですから、現在のところ、既存の4基のナイター設備を移設すると、そういうことで検討を進めているということでございます。

なお、あわせて、例えば、電球の増設をしたほうがいいのか、そういったことが議論の中で出てくるかもしれませんけれども、そういった場合には電気料金との関係等もございまして、グラウンド部会のほうでどうするか検討をしていくということになるかと思っております。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

確かに、今の朝日小学校の4基では不足しているというふうに考えております。しかし、考えていただきたいのは、あの全部がああ4基で賄うということが僕は間違っていると思うんですね。そうじゃなくて、夜間はここまでですというのをエリアを区切って、そこで、例えば、4基やるとか、足りなかったらそこに6基やるとか、そういうふうにもう少し選択と集中を考えたほうがいいんじゃないかというふうに考えております。

そこでもう1つお考えいただきたいのは、私はこれは基本的に寄附が原則だと思っております。というのも、これを市民の税金を投入するということになると、例えば、朝日小学校のあのグラウンドを使うというのは、大半の方が朝日の方々だと思うんですね。それが例えば、税金全体となると、これは武雄市全体のことになりますので、そういったことで一番使用頻度が高い地区がそれは負担をせざるを得ない、これが税金の原則であり、利用の原則だというふうに考えております。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

わかりました。確かに、市民の方が利用するわけでございます。しかし、町外からもソフトとかなんとかには練習にも来ていらっしゃいます。ですから、その寄附がいけないというわけじゃございませんけれども、このような形で平成9年にしたということで。朝日小学校の建設も、校舎の改築もありましたけれども、そのときには8,000千円近い寄附が集まっております。ですから、仮に今回、朝日小学校のグラウンドの照明が足りないということになれば、それは実行委員会でもちゃんとつくって寄附採納の願いは私もやぶさかではないというふうに考えております。

では、次の問題に移りたいと思います。この問題と関連して、道路行政について質問をさせていただきます。

この朝日小学校の横から武雄に行く武雄高橋線の工事が今進んでおります。これが非常に、一部どうしてもできないというようなところがあるようでございまして、まだなかなか完成が見えておりません。約10年近くなると思いますけれども、その進捗状況といたしますか、その最終できない部分の対応はどのようになっているのか、お尋ねしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

お答えいたします。

武雄高橋線につきましては、確かにこれまで用地が難航して未完成でありました。しかし、現在、用地がすべて完了して、今年度じゅうに完成するという状況です。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

安心しました。ここも3年ぐらいはあのままになっておりまして、あと30メートルぐらい用地が買収できたらスムーズにいくのになというふうに、大変私も危惧しております。私も毎朝あそこら辺を歩いておりますけれども、本当に、せっかくここまで来てねというような感じがしておりました。しかし、安心しました。

それと、今回、国道498号線、「佐賀のがばいばあちゃん」で大変有名になりました。川上の淀姫神社のあの狭い、歩道がないところが今度改修の計画が、工事にかかるということを知りました。そういうことで、この後にまた質問させていただきましても、高校総体との関係もありますから、川上は私の地元でございますけれども、たしか、話はもう結構早くからあって、もういつでも工事をかかっているような話も聞きましたけれども、何でこのように遅くなったのか、高校総体との関係は全然なかったのか、お尋ねをしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

計画はありますけど、発注がいつになるかというのはまだわからないという状況です。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

私も大まかに道路行政と通告しておりましたので、細かに通告しておったらよかったわけですが、これは県の事業ですから仕方ございません。

では、次は同じ道路問題ですが、高校総体のことについて質問させていただきます。

武雄市については、バドミントン、それに自転車競技が行われることになっております。バドミントン競技は、7月28日、文化会館の大ホールで開会式が行われ、8月2日に白岩体育館大競技室で閉会式が行われるようになっております。また、自転車競技につきましては、8月8日に文化会館大ホールで開会式、8月12日、日曜日ですが、朝日小学校の体育館で閉会式が行われることになっております。

私は、今回の高校総体に当たって、警備体制について質問をいたしたいというふうに思います。

まず、7月28日のバドミントン競技の開会式には、皇太子御夫妻の来賓の予定があるそうでございますけれども、まだはっきりしたことはございません。県民、市民一丸となって歓迎をするところでございます。

また、8月8日から始まります平成19年全国高等学校総合体育大会、秩父宮記念杯第58回

全国高等学校対抗自転車競技選手権大会、また第52回全国高等学校自転車道路競争中央大会が開催をされます。この自転車競技のトラック競技につきましては、1周400メートルのコースで武雄競輪場で行われるわけですので、交通の警備につきましてはいろいろ問題はないと思います。しかし、8月12日の日曜日、武雄市特設ロードコースで行われます第52回全国高等学校自転車道路競争中央大会の路上警備でございます。市内の路上1周約20キロを5周してフィニッシュに入るわけでございますけれども、朝日小学校前を8月12日7時30分にスタートして、ゴールが10時30分ごろだと聞いております。この1周約20キロの警備でございます。自転車ですから、大変なスピードで走ってきます。その警備体制をどのようになされるのか、計画をお尋ねします。

議長（杉原豊喜君）

大庭総務部長

大庭総務部長〔登壇〕

先ほど、皇太子殿下、妃殿下がお見えになられるというような御質問ございましたけれども、県のほうからお聞きしているのは、従来、高校総体の開会式には皇太子殿下、妃殿下がお見えになっていると、そういうことから今回の高校総体にも見えられる可能性は高いというふうなことで現在のところはお聞きをしているところでございます。

議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

古賀教育部長〔登壇〕

それでは、お答えを申し上げます。

まず、ロードレースですけど、これにつきましては今議員おっしゃいましたように、7時半から、大体ゴールが10時半まで、ですから、大体3時間周回をするということになります。それで、交通規制の基本的な方針ということですけど、これにつきましては、コース内への車両の進入を防ぐと、そういうことを前提にいたしまして、現在、警察、それと道路管理者等で協議をしているところでございます。

地域地域によって、いろいろ事情がございますけれども、例えば、主要な交差点での取り扱い、それから誘導箇所をどこにどういう形で設けるかというようなところもございまして、それから、コース外からコース内への移動、住居も中にございますので、そういったところをどうするかということも踏まえまして、関係機関と現在協議をいたしているところでございます。決定次第、地区の住民の方々、それから関係する、例えば、トラック協会とか宅配業者、いろいろお知らせするところはございますので、市内外含めまして周知徹底を図っていきたくて、こういうふうに考えております。

それから、警備対策ですけど、主要な交差点とか誘導箇所につきましては、警察署、それと交通安全指導員の方々に規制業務を行っていただくということにいたしております。そ

れから、公道とかのコース内への進入路とか、あるいは家屋等の密集地帯の前、そういったところには立哨員を配置いたしまして、観衆の方の誘導整理、それからコースの安全確保、こういった業務をやっていただくということで考えております。この立哨員は現段階で大体600人ほどを想定いたしております、消防団の方々、それから体育協会、ボランティア、これは市報で今募集をしているところですけど、それから体育指導員、それから市職員等で対応をしていきたいというふうに考えております。これをいかに確保するかというのがポイントだと思いますので、ぜひ多くの方々の御協力をお願い申し上げたいというふうに思っております。

なお、危険箇所等につきましてはコーンを設けたりとか、そういった防御の措置をとっていききたいというふうに考えております。

議長（杉原豊喜君）

21番吉原議員

21番（吉原武藤君）〔登壇〕

今説明いただきましたけれども、ロードですからですね。若楠国体のときも自転車のロード競技がありました。あのときは武雄競輪場をたしかスタートしたと思いますけれども、あれは呼子までの往復だったから、そう問題はなかったわけですけども、今回は20キロのコースを朝日、若木、武内、武雄を一周して、それを5周するわけですから、そのコースは、ほんな軒先を走っていくわけですから、非常に危ないなと危惧しております。

ことしの3月25日に若松区の響灘で高校の選抜大会が、ロードがあったときに視察に行ってきました。あの場所は、この武雄のコースと違って、山の上のようなところを切り開いたところでございますので、場所が響灘の緑地パークというようなことで植樹祭があったところで、物すごく車の数もない、家もない、民家もないというようなところで、非常に人通りの少ない、車の少ない場所だったから非常に、警備も簡単にできたと思いますけれども、今回の武雄でのこのロードコースというのは、非常に市民と密接な、生活に関係のある道路なんですね。私たちは6時から11時まで出動をしてくれと言われております。そこを自分の警備場所からは立ち退いたらいかんというようなことでございますけれども、それはもちろん真夏でございますので、水も補給せにゃいかんし、トイレにも行きたいだろうと思います。本当にこの約、コースだけは3時間ですけども、恐らく4時間近い警備をしなくちゃいけないということで、大変な労力と神経が要ると思います。

私は北九州にも行ってきましたけれども、最後のフィニッシュなんていうのは、それはもうやっぱり60キロも70キロも出るようなスピードでございますので、非常に危険が伴うことでございます。そして、このコースには直角に曲がってみたりしにゃいかんところがあるわけですね。そして、やはり8月の12日ですから、お盆にかかります。ですから、交通渋滞とかなんとかも考えられるわけですので、そこら辺については交通規制というのはやっぱり警

察との密接な意見交換をされてされると思いますけれども、やはりそこら辺の警備を本当に綿密に計画を立ててやらんという、せっかくの高校総体が無駄になるわけですので、そこら辺については教育委員会としても、市としてもひとつ成功するように立派な計画を立てていただいて、そしてこの大会に臨んでいただきたいということを希望いたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。